



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年7月31日



問屋町大通りフラワーボックス



市場前ラベンダー



無料配付したフラワーボックス



緑のボランティア隊

「問屋町花いっぱいプロジェクト」により組合員の景観に対する意識も変化しており、フラワーボックスへの水やり等の協力や自社敷地内の景観整備に取り組む組合員も増えている。組合では引き続き組合員と連携して団地内の景観美化向上を図っていく。



組合員昼食会

また、問屋町緑のボランティア隊による組合管理地への花苗植栽も10年以上行われており、今年も6月23日(日)に隊員39名により、問屋町東口及び第二問屋町北口にマリイゴールドやペコニア等820ポットが植えられ、道行く人の目を楽しませている。

「問屋町花いっぱいプロジェクト」により組合員の景観に対する意識も変化しており、フラワーボックスへの水やり等の協力や自社敷地内の景観整備に取り組む組合員も増えている。組合では引き続き組合員と連携して団地内の景観美化向上を図っていく。

組合では、景観整備事業の一環として「問屋町花いっぱいプロジェクト」を推進。この時期、一斉に花を開き団地内を明るく彩っている。組合ではこれまで様々な景観整備事業に取り組み、問屋町エリアの価値向上に努めてきた。その成果は、2017年の青森県主催「ふるさとあおもり景観賞」の「屋外広告物部門」と「地域づくり活動部門」の2部門での最優秀賞

受賞として評価された。景観整備事業では、ゲートサイン等のハード整備に加え街路樹柵へのハード植栽等を進めてきたが、近年は花による景観美化向上にも着手。「問屋町花いっぱいプロジェクト」と銘打ち、問屋町大通りへのフラワーボックス設置、組合員へ花の種やフラワーボックスの無料配付、中央分離帯への芝桜植栽などを実施している。

また、問屋町緑のボランティア隊による組合管理地への花苗植栽も10年以上行われており、今年も6月23日(日)に隊員39名により、問屋町東口及び第二問屋町北口にマリイゴールドやペコニア等820ポットが植えられ、道行く人の目を楽しませている。

中島氏は「心筋梗塞や脳梗塞などの様々な病気を引き起こす動脈硬化は、自覚症状なく進行する。高血圧、高血糖、メタボ、喫煙などが動脈硬化の進行を早めるため日頃の生活習慣を整えることが大切。食事はよく噛み腹八分目を心がけ間食は控える。塩分を摂り過ぎないようにするため、味噌汁は1日1回(具だくさん)、しょうゆやソースはかけるのではなく、つけて食べるなどの工夫をする。また、食物繊維やビタミンが豊富な野菜や海藻を多めに摂取し、1日30分を目標に運動するようにしましょう」とアドバイスした。

最後に組合員ミツワ電機㈱の概要及び取扱商品紹介が行われた。同社の岡本課長は「当社は創業109年目の電設資材商社で、『ミツワ』の由来は3人で創業したことから『3人の和』を大切にすため、和をもって社業を発展させていくという姿勢を示す。照明器具や換気・空調設備機器などの商品を取り扱い、営業拠点は全国に約70カ所。商品販売だけでなく、進捗管理や現場対応、施工を含めたトータルコーディネートにも注力している」とPRした。

色とりどりの花で明るく彩られる 問屋町花いっぱいプロジェクト

組合員昼食会で健康教養向上

インターシッピング導入事業 実施と承認 第2回理事会

6月24日(月)に第2回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、北日本流通ヴァン(株)の2018年度決算やリサイクル回収による収益金の寄付などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり
案件一・事業委員会からの意見について
案件二・労務対策委員会から

消費税込改正に伴う問屋町トランクボックスの規程変更などが承認された。
案件三・環境対策委員会から

佐々木会長を再任 問屋町支店長・所長連絡会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第11回定時総会が6月19日(水)にホテル青森で開催され、同会員25名が出席した。

総会では、佐々木会長が議長に選出され、審議の結果、全て原案どおり承認された。

任期満了に伴う役員改選では、佐々木会長が再任されたほか、他の役員も全員重任となった。

また、総会に先立ち、弘前市出身の登山家で文筆家の根深誠氏を講師に招き、「岩木山からヒマラヤへ」と題した

の意見について

納涼パーティーや従業員親睦交流会の開催などが承認された

案件三・環境対策委員会からの意見について
防災訓練や問屋町地区側溝

泥上作業の実施が承認された
案件四・仕事理解型インターシッピング導入事業の実施について

案件五・組合員の組織変更に伴う出資金等の承継について
案件六・組合施設の一部賃貸

案件七・青森産業展示館の土地使用契約の延長について
案件八・組合員跡地買取資金

の借換について
特別講演会を開催した。

同氏は「小さい頃から山に行くことが大好きで毎週のように岩木山に通い、いつかはヒマラヤに行ってみたくて夢見ていた。今から50年前は、海外に登山に行くことは非常に困難なことであったが、大

学の先輩である冒険家の植村直己氏の後押しでヒマラヤ初登頂につながった」と当時を振り返りながら語った。

70歳を超える根深氏は、20年前から、ヒマラヤを探索した最初の日本人である『河口

慧海(かわぐちえかい)』の足跡を追った調査を続けており、講演の最後に「今はグルグルアースでも辿れるかもし

案件九・2019年度の役員報酬について

案件十・2019年度第3回理事会の日程等について

理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第39回定時総会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

弘前公園の桜について学ぶ 青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会の第29回会員交流会が、6月28日(金)にホテル青森で開催され、会員他22名が参加した。

交流会では、弘前市公園緑地課に所属する弘前公園チーム桜守・樹木医の小林勝氏を講師に招き、弘前公園のさく

れないが、現地に赴き、自分の足で歩き、現地の人々と交流し、時には遠回りしながら

先人の行動を追体験することで、はじめて真実に近づけると考える」と、6月にヒマラヤを再訪して行う現地調査への意気込みを語った。



青友会定時総会

らについて講演会を行った。

日本一と名高い弘前公園の桜は、小林氏を含めチーム桜守のメンバー3名で管理している。りんご栽培を参考にした管理手法は「弘前方式」と呼ばれ、NHKでも取り上げられるほど注目されており、全国各地で講演や現地指導なども行っている。

小林氏は「近年、気候の温暖化によりソメイヨシノの開花時期が早まり、ゴールデンウィーク後半にはソメイヨシノが散ってしまっているが、弘前公園には現在52種類、2千6百本の桜の樹があり、遅咲きの桜も数多くある。ソメイヨシノの見頃が過ぎても

死亡事故ゼロ8千日達成を目指す 青森交通安全協会問屋町支部

青森交通安全協会問屋町支部の第46回定時総会が6月25日(火)、問屋町会館1階会議室で開催された。総会には同支部会員35名に加え、来賓として青森警察署北道交通第一課長、青森交通安全協会齊藤専務理事が出席した。

総会では工藤支部長が議長を務め、2019年度事業計画等が原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では工藤支部長が再任され、その他の役員も全員重任となり、問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日達成(2019年9

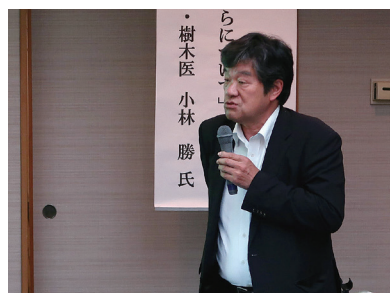
月22日達成予定)に向け、活動していくこととなった。

総会終了後には北道交通第一課長による交通安全講話が行われ、同氏は「免許を取得した時の気持ちを思い出し、安全確認の徹底と運転の集中を心がけて」と話した。

その他の役員も全員重任となり、問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日達成(2019年9



再任された工藤支部長



講演する樹木医の小林氏

循環型社会を目指して……

製紙原料問屋・段ボール・古新聞・古雑誌
・機密文書リサイクル

株式会社 伸和産業

http://shinwa-sangyou.com

青森中央営業所 TEL (017) 764-2755
青森西営業所 TEL (017) 787-3455
本社 TEL (0172) 35-5255

青森市問屋町 2-12-14
青森市油川字岡田 122
弘前市堅田 1丁目 4-2

車のことならまかせて安心

(株)マツダアンフィニ青森
問屋町カーサービス事業部

〒030-0131 青森市問屋町一丁目13-20
電話(017)738-4505 FAX(017)738-4556

事務局職員
人事異動のご案内

▽総務課長 成田 賀子
▽総務課長代理 五十嵐 敦
(7月1日付)

業務報告

…主要事項…

6月
8日▽第1回事業委員会
4日▽青森法人会定時総会
5日▽商団連第1回事務局長
会世話人会
▽問屋町花の植え方教室

6日▽組合員昼食会
▽県火災共済理事会
8日▽第20回青友会・同友会
合同ゴルフコンペ
▽簡易郵便局業務研究会
10日▽県中小企業診断協会通
常総会
11日▽第1回集団健康診断
(13日)
▽簡易郵便局新規従事者
研修(20日)
▽第1回環境対策委員会
13日▽第3回問屋町合同清掃
▽青森地区経営者協会定
時総会
17日▽金融審査会
▽市産業振興財団評議員会
▽消費税軽減税率制度講
習会

18日▽北日本流通ヴァン(株)第
30期定時株主総会・第1
回取締役会
19日▽問屋町支店長・所長連
絡会第12回定時総会
20日▽第1回労務対策委員会
21日▽緑葉会通常総会・翔友
会合同セミナー
23日▽第1回問屋町緑のボラ
ンティア隊
24日▽第2回理事会
▽青森問屋町配送(株)第39
回定時株主総会
25日▽問屋町地区健康診断
▽安協問屋町支部第46回
定時総会
26日▽第1回問屋町従業員モ
ニター会議

28日▽県経営者協会定時総会
▽問屋町経営同友会第29
回会員交流会
…問屋町
ビジネススクール…
6日▽労働時間管理実務
Vol.1
8日▽新入社員研修フォロー
アップ講座
11日▽質問力向上研修①
13日▽質問力向上研修②
18日▽コーチングスキル①
20日▽コーチングスキル②
27日▽若手従業員フォロー
アップセミナー

経済雑感

第九十七回

一般社団法人 青森地区労働基準協会
専務理事 平井 尚人

前号に引き続き、青森地区労働基準協会の平井専務理事による経済雑感をお送りする。

2019年4月から「青森働き方改革推進支援センター」と改称して、現在も「働き方改革関連法」の相談・対応を行っています。

前号で、年次有給休暇関係についてお話をしましたが、今回は時間外労働の上限規制を取り上げます。

夜遅くまで、「事業場の電気が煌煌とついている」「家族が毎日遅く帰ってくる」「遅くて体を壊すので



(一社)青森地区労働基準協会 専務理事 平井 尚人氏

「休日に出勤させることもある」しかし、監督署への届出はしたことがないと平然と話す経営者がいます。労働時間は、週48時間から46時間、44時間、そして現在は40時間(特例措置あり)となっています。週休2日制が導入され

は「法律に違反しているのでは」等の声が聞こえてきます。労働基準法では原則、労働時間は1日8時間及び1週40時間、休日8時間、毎週少なくとも1回と定めています。これを超えるためには36協定の締結・届出が必要となります。

これは「過労死」問題が世間で話題になり、さらに時間外労働が目立って今回の上限規制が盛り込まれました。働く戦士を重宝した時代、今は多様なライフスタイルを求め、高額給料より休みを重視する若者が増えてきたといわれています。少子高齢化による労働人口も右肩下がりであります。経営者の方は、これまでの経験と知識は豊富ですが、今の時代はインターネットを駆使して労働者がより早く情報を手に入

る若者が増えてきたといわれています。少子高齢化による労働人口も右肩下がりであります。経営者の方は、これまでの経験と知識は豊富ですが、今の時代はインターネットを駆使して労働者がより早く情報を手に入

る若者が増えてきたといわれています。少子高齢化による労働人口も右肩下がりであります。経営者の方は、これまでの経験と知識は豊富ですが、今の時代はインターネットを駆使して労働者がより早く情報を手に入

る若者が増えてきたといわれています。少子高齢化による労働人口も右肩下がりであります。経営者の方は、これまでの経験と知識は豊富ですが、今の時代はインターネットを駆使して労働者がより早く情報を手に入

農林業・汎用機械 卸/販売/サービス
株式会社 ガスデン
ホンダ ヤマハ セノア オーレック その他
除雪機 発電機 草刈機 耕うん機 など
家庭、事務所にも、小型でちょっといいモノを
青森市第二問屋町4丁目2-26 TEL: 017-739-7422
E-MAIL: gasuden@k4.dion.ne.jp FAX: 017-739-8186

建設機械
販売/リース/サービス
株式会社 ほくと
代表取締役 川村 雄 藏
青森支店 〒030-0112 青森市第二問屋町三丁目11-16
Tel.017-739-5771(代) FAX.017-739-5723
(URL) http://www.hokuto.com

積水ハウスグループ
積和建設の在来木造住宅新築
積和建設のリフォーム
戸建・マンション・店舗
一般木造・鉄骨造・コンクリート造・その他
積和建設東北株式会社 青森事業所
〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10 TEL 017-764-3622

事務機・事務用品の総合商社
〒030-0113
青森市第二問屋町三丁目3-34
株式会社 金入 青森支店
TEL 017-739-9001
FAX 017-739-9011

消費税軽減税率制度について学ぶ

6月17日(月)に、消費税軽減税率制度講習会が問屋町会館1階会議室で開催された。講習会は、組合の上部団体である全国卸商業団地協同組合連合会の協力を得て、青森卸売業協と合同で開催。昨年9月に引き続き2回目の開催となった同講習会には、両組合から合わせて29名が参加した。

講習会では、税理士法人コスモ・アソシエイツの和田税理士が講師を務め、軽減税率制度の概要や区分記載請求書等の保存方式、軽減税率の対象品・非対象品についてなど、具体的な事例を交えて解説し



軽減税率制度講習会

た。また、軽減税率導入に伴い必要となる複数税率対応レジや受発注システムの改修に対する補助金についても紹介した。

講習会後には個別相談も行われ、参加者は熱心に質問していた。

RPAによる業務の自動化について学ぶ

7月5日(金)、ポリテクセンター青森が主催する「RPAで仕事はどう変わる」失敗しないRPA導入のポイント」と題したセミナーが問屋町会館1階会議室で開催された。同セミナーは、問屋町ビジネススクールとの共催で行われ、13名が参加した。

同セミナーの講師は、学校法人産業能率大学総合研究所の主任研究員で中小企業診断士でもある齋藤義雄氏。RPAとはどのようなツールなのか、どのように導入すべきなのかを、様々なワークを交えて解説した。



RPAセミナー

斎藤氏は「RPAとは手作業で行っていたパソコンでの定型繰り返し業務を自動化して労働生産性を改善できるツール。導入成功には経営層の強いリーダーシップが必要で、まずは小さく始めてみるのが肝心」と話した。

団地企業訪問

今回は、㈱トヨシマが今年4月にグループ会社4社と合併して誕生した、㈱イチネンMTM青森営業所の工藤所長にお話を伺った。

旧㈱トヨシマは自動車補修用各種板バネなどの販売を昭和25年に開始。昨年、㈱イチネンホールディングスのグループ会社となり、4月にトヨシマを含むイチネングループの機械工具セグメントの5社が合併して㈱イチネンMTMとして新たな成長・飛躍への挑戦をスタートした。

技術、金属の成形加工技術を礎に、独自の圧延技術を開発しました。『変厚変幅圧延技術』は、既存の鍛造や切削で作られる鋼材に比べ圧倒的なパフォーマンスを発揮し、材料や加工費などの「ムダ」をカットします。当社の主要製品のひとつである大小様々な種類のフォークアームも、世界で唯一のロール成形設備で高品質・短納期にて生産しています。合併により益々充実した各事業の強みを生かし、お客様の一日、一日が最高の毎日になるように、これからも事業を通じて快適さを提供し続けたいと語る。



MTM 所長 氏
イチネン 所長 氏
青森 営業所 長 氏
工藤 雅俊

「変厚変幅圧延技術」は、既存の鍛造や切削で作られる鋼材に比べ圧倒的なパフォーマンスを発揮し、材料や加工費などの「ムダ」をカットします。当社の主要製品のひとつである大小様々な種類のフォークアームも、世界で唯一のロール成形設備で高品質・短納期にて生産しています。合併により益々充実した各事業の強みを生かし、お客様の一日、一日が最高の毎日になるように、これからも事業を通じて快適さを提供し続けたいと語る。

「当社では自動車・建設機械部品や農機部品など幅広い商品を取り扱っており、自社工場では永年培ってきたバネ製造技術、熱処理

と力強い。プライベート面が及ぶと「青森の魅力は豊かな自然とねぶた祭ですね。青森ねぶたは昔から大好きで毎年跳んで参加しています。夏が近づくと聞こえる囃子の音が自然と動いてしまいますね。去年は仕事

緒に働く職員がずっとこの会社になりたいと思えるような職場にしていきたいです。職員が楽しく働いてくれることで社内が明るくなり、活気溢れる職場になってくれればと思っています。また合併により大幅に増えた取扱商品を「早く把握し、地元」に根付いた営業を広く展開していきたい。今後、社員も一丸となって頑張りたいです。」

座石の銘は「一期一会」「出会う方、出会える方を大切に日々の時間を過ごしていきたいです」と話す。

最後に「私の得意技は空元気で」と笑顔で締めくくった。

「問屋町花いっぱいプロジェクト」。昨年は問屋町大通りへのフラワーボックスの設置でした。問題は水遣りでしたが、組合員さんの多大のご協力によりクリアできました。感謝感謝です。今年の総会で、乾杯のご発声の若井商工会議所会頭から「問屋町は全体きれいなイメージである」との望外のご評価をいただき、証左を示された思いでした。今年の目玉は、フラワーボックスの組合員への無料配付です。これにより組合員を訪れるお客様の目が楽しめたと願っています。転話題。今回は今年一月に出版された話題の書『ファクトフルネス』についてです。▼新聞・テレビでは、事件や事故・犯罪・災害・格差の拡大・地域紛争など悲観的な出来事ばかりが報道されていますが、各種統計を調べると、実は世の中は、むしろ良くなってきているというケースが多いと著者はいいます。▼著者のハンス・ロスリングは、スウェーデンの医師で公衆衛生の専門家。公共統計の利用と理解を高める目的で「事実に基づく世界の見方(ファクトフルネス)」を広める活動に取り組んできました。▼本書の冒頭にある世界の変化の常識に関する三択の13の質問を素で回答すると世界中の人の90%が、答えが全く分からないチンパンジー(三択の正解率33%)に負ける、という事実です。▼例えば「質問3」「世界の人口のうち、極度の貧困にある人の割合は過去20年でどう変わったでしょうか?」答えは三択「(A)約2倍になった」「(B)あまり変わっていない」「(C)半分になった」さてどれでしょう?▼答えと続きは次回です(藤本)

ユニフォーム&イベント
正善商事株式会社
 〒030-0131
 青森県青森市問屋町1丁目6-22
 TEL 017-738-2450(代)
 FAX 017-738-2664
 syozen@ray.ocn.ne.jp

家庭の銀行
みちのく銀行
 問屋町支店
 ☎017-739-1100